

建物用床塗料・水性2液型ウレタン系

ユカロック7000番級 (つや有り)

ホルムアルデヒド放散等級区分

F☆☆☆☆

居室内で無制限に使用できます

耐摩耗性

従来の水性床用塗料と比較して架橋密度が高く、約2.5倍*の耐摩耗性にすぐれた強靱な塗膜のため、フォークリフトを使用する倉庫・配送センターの床面に適しています。

※当社内水性1液床塗料と比較

すぐれた付着性

樹脂系床用塗料の旧塗膜を選ばず、上から塗り重ねることができます。

高耐候性

屋外床における紫外線にも非常に強く退色抑制効果を発揮するため、長期間にわたり美観維持にも役立ちます。

環境性

原料に鉛やクロムなどの重金属を配合していませんので、人と環境に配慮した水性塗料です。

◆ 適用下地

屋内外のアスファルト

コンクリート

モルタル床面

※アスファルトが比較的新しい場合は、タール成分がにじみおそれがありますので、試し塗りを行ってください。

◆ 製品体系

品名	系統	容量	混合比
ユカロック7000番級 水性速乾プライマー	建築用床塗料水性プライマー	15Kgセット (主剤:12kg、硬化剤:3kg)	主剤:硬化剤 = 4 : 1
ユカロック7000番級	水性2液型ウレタン樹脂塗料	15kgセット (主剤:13.5kg、硬化剤:1.5kg)	主剤:硬化剤 = 9 : 1

◆ 常備色

モスグリーン

グレー

みどり

しろ

ディーブグリーン

その他色相調色にて対応可能です。

◆ 用途（屋内外用）



学校



店舗の廊下



事業所の床



ベランダ



一般工場



食堂



遊歩道



駐車場



フォークリフトを使用する
倉庫・配送センターの床面



公園の広場

※印刷につき、実際の色とは異なります



ロックペイント

標準塗装仕様

【新設】平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法・希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)	可使時間 (23℃)
素地調整	コンクリート、モルタル面の含水率 8% 以下、pH9.5 以下にしてから塗装してください。ゴミ、ホコリ、砂、土、カビ、油脂類などを除去してください。ひび割れ等は、あらかじめパテなどを充填し平滑にしてください。						
注3) 下塗り	ユカロック7000番級 水性速乾プライマー	水	ハケ ローラー : 0 (通常不要)	1	0.15 ~ 0.20	4時間以上 2日以内	4時間以内
注2)注3) 上塗り	ユカロック7000番級	水	ハケ ローラー : 0~7	2	0.13 ~ 0.17	4時間以上	1.5時間以内

【塗り替え】平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈剤	塗装方法・希釈率 (%)	塗装回数	標準塗付量 (kg/m ² ・回)	塗り重ね可能時間 (23℃)	可使時間 (23℃)
注1) 下地調整	旧塗膜ではがれ部分、ふくれ部分などは皮スキ、ワイヤーブラシなどのケレン具を用いて完全に除去してください。サンドペーパー等で表面を粗目してください。ゴミ、ホコリ、砂、土、カビ、油脂類などを除去してください。ひび割れ等は、あらかじめパテなどを充填し平滑にしてください。						
注2)注3) 上塗り	ユカロック7000番級	水	ハケ ローラー : 0~7	2	0.13 ~ 0.17	4時間以上	1.5時間以内

注1) 既存塗膜の改修の場合は、必ず表面を研磨し粗目してください。不十分な場合は、剥離が生じる場合があります。

●塗り替えの場合でも、コンクリートやモルタルが露出している箇所には、プライマーの補修塗装が必要です。

●上塗りに骨材 (珪砂7号) を散布することで、滑り止め効果を持たせることができます。骨材 (珪砂) を散布する場合、珪砂は1回目塗装直後に散布し、乾燥後余分な珪砂は、除去、清掃してください。

また、上塗りに骨材を混合する場合は、非常に沈殿しやすいので攪拌しながら塗装してください。

注2) 硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に塗膜性能が低下します。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。また上塗り2回分を一度に配合しないで、その都度配合してください。

注3) 歩行可能時間は、ユカロック7000番級塗装後7時間 (23℃) 以上となります。車両走行は塗装後、72時間以上。早期の使用は、塗膜が割れたり、軌跡・タイヤ跡などの不具合が生じます。

施工上の要点および注意事項

- 塗料はよくかき混ぜ、均一にしてから使用してください。
- 塗装作業中および乾燥中は換気を十分行い、その後も塗膜が完全に乾くまでの間は、ときどき換気を行ってください。
- 新設塗装の場合は素地に適したシーラー・プライマー・フィラー等を下塗りしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 塗装方法により多少色相が異なることがありますので、入り隅のハケ・ローラー境目ではできるだけ奥までローラー塗装してください。
- ローラー塗りの場合、ローラー目より同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により色相が異なって見えることがあります。
- 補修部分が目立つことがありますので、補修塗りの場合は同一ロットの塗料を使用し、同一の塗装方法、希釈割合で行ってください。
- 塗色が濃色の場合、塗膜を強くすると色落ちすることがありますので注意してください。
- 塗る面のゴミ、かび、けい、油分、枯葉などの汚れや、はがれかかった塗膜はよく取り除いてください。
- 塗装中および塗装後 24 時間は 5℃以下にならない場所で使用してください。また湿度が 85% 以上の場合は塗装を避けてください。
- 絶えず結露が発生するよう場所、用途での使用は避けてください。
- 硬くてまだツヤのある塗膜や吸い込みの無い面に塗装する際は、あらかじめサンドペーパーで面を荒らしてください。
- 降雨、降雪、強風などの場合、または天候不良が予測される時は外部の塗装を避けてください。
- 新しいコンクリート、モルタルなどのアルカリ質素材は、含水率 10% 以下、pH9.5 以下になるまで十分に乾燥させてください。
- 吸い込みの多い面などを塗る場合は、各種ロック建築用シーラーで適切なものを使用してあらかじめ下塗りしておくください。
- 上塗りに骨材 (珪砂7号) を混合することで、滑り止め効果を持たせることができます。
- 骨材 (珪砂) を散布する場合、珪砂は1回目塗装直後に散布し、乾燥後余分な珪砂は、除去、清掃してください。
- また、上塗りに骨材を混合する場合は、非常に沈殿しやすいので攪拌しながら塗装してください。
- 水の溜まる所の塗装は避けてください。
- ワックスを使用している床面は付着性を損ないますので、ワックス剥離剤などで除去し、水洗い、乾燥を十分に行った後、塗装してください。
- 旧塗膜が何度も塗り替えられ厚くなっていくと塗膜全体が軟らかくなっている場合があり、そのまま塗り重ねるとクラックやひびがけが生じる恐れがあるため、その場合の旧塗膜は剥離による塗替えを行ってください。
- 施工後、ゴムホース、タイヤなど可塑剤を含むものを長時間接触すると軟化し粘着性が生じるため、置かずにしてください。
- アスファルト面に塗る場合、手早く塗ってください。何回も塗装面をこするとアスファルトが溶けてしまう場合があります。
- 舗装して間もないアスファルト面の場合、表面ににじみが生じることがありますので、舗装後表面ににじみが生じなくなるまでの約3週間から1か月程度は塗装を避けてください。
- 表面に光沢のある高密度コンクリート、強化コンクリート、カラーコンクリート床の場合、塗料が浸透しにくく、付着性が十分に発揮できませんので弊社営業にお問い合わせください。
- ハケ・ローラーなどの塗装用具は水性用を使用してください。
- 使用後のハケなどの用具や、手に付いた塗料はできるだけ早く水で洗い落してください。乾くと落ちにくくなります。
- 乾燥した塗膜に付着した汚れはシンナーなどで拭かず、中性洗剤で洗浄してください。
- 硬化剤は必ず専用硬化剤を使用してください。他の硬化剤を使用すると仕上がり外観、塗膜性能に悪影響を及ぼします。
- 硬化剤を配合した塗料は、時間の経過と共に塗膜性能が低下します。配合した塗料は可使時間内に使い切ってください。
- 硬化剤を配合した塗料は反応に伴い炭酸ガス (CO₂) が発生し容器内圧力が高まりますので、塗料容器は密閉しないでください。
- 夏場の高温時は硬化反応が著しく速まるため、塗り重ね間隔はあまり日数を置かず速やかに実施してください。上塗りとの付着性が低下します。
- 塗料液と硬化剤には、湿気と反応する成分が含まれています。貯蔵の際は密栓し冷暗所に保存してください。また、開栓後ではあるが早めに使用してください。水・アルコール系の溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 硬化剤はイソシアネート化合物を含んでおり、スプレーダストを吸引すると鼻、のど、気管支などに障害を起こすおそれがありますので、換気を良くし、適切なマスキングして作業を行ってください。過去にアレルギー性皮膚炎を経験している人は取扱わないでください。
- 改修塗装の場合、脆弱な旧塗膜、汚れ、チョーキングなどはディスクダンナー、皮スキ、ワイヤーブラシなどで除去し、高圧洗浄を行った後、24時間以上乾燥させてください。(気温 20℃、湿度 65% の場合)
- 改修塗装の場合、素地の種類や下地処理方法によって付着不良やリフティング等の塗膜不良となる事があります。あらかじめ適切な処理を行い試し塗りすることをお奨めします。
- 下地の種類、状態によっては、下塗りや表面荒らしが必要な場合があります。
- 仕様書の数値は標準的な塗装を行う際のもので、標準塗付量は塗装時のロスを考慮に入れた数値です。素地の状態、気象条件、塗装方法などによって異なる場合があります。
- 各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合塗膜不良となる事があります。
- また、各工程において当社指定以外の材料を使用した場合は十分な性能が得られないことがあります。この仕様書はすべての工程においてホルムアルデヒド放散等級F☆☆☆☆を使用しています。
- F☆☆☆☆以外の材料 (被塗物、素地を含む) を使用したり、各工程の塗装間隔や塗付量、希釈量を守らなかった場合、F☆☆☆☆でなくなることがありますので注意してください。
- カタログに記載されていない素地及び塗装方法、工程で施工する場合、塗膜欠陥を起こすことがありますので、使用する前に最寄りの営業所へお問い合わせください。
- 塗装間隔は守ってください。塗装間隔が長くなりますと付着性が低下して上塗り塗料と層間剥離を起こすことがありますので注意してください。
- 塗装後 24 時間以内に降雨、結露があった場合、白化やシミが残る場合があります。また、低温時や高湿度、通風が悪い場合も白化やシミになる場合があります。
- このカタログに記載されている下塗り塗料などの詳細な使用方法については、それぞれのカタログをご参照ください。

安全衛生上及び取扱上の注意

【製品の危険・有害性】

- 硬化剤に、水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 硬化剤は、イソシアネート含有しているため、蒸気、ミストなどを吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないように十分に注意してください。

【救急処置】

- 目に入った場合は直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 誤って飲み込んだ場合は、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、多量の水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化のある時は医師の診察を受けてください。

【取扱注意事項】

- 取り扱いには引火源のないところで行い、特に静電気が発生するような衣服、取扱は避けさせていただきます。
- 取扱作業所には、局所排気装置を設け、塗装時および乾燥時には十分換気を行ってください。
- 溶剤蒸気やスプレーダストを吸い取り、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスクなどの適切な保護具を着用してください。

- できるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護メガネ、保護手袋 (耐溶剤性)、長袖作業着などを着用してください。
- 取扱後は手洗いおよびうがいを行うに十分なに行い、作業着に付着した汚れをよく落としてください。
- 使用済みウエス、塗料かす、スプレーダストなどは、廃棄するまで水をはった容器に保管してください。
- よくふたをして直射日光を避け、5℃以上40℃以下の安全でかつ子どもの手の届かない一定の場所に保管してください。
- 容器は中身を使い切ってから廃棄してください。
- 指定された以外の製品と混合しないでください。
- 廃棄の際は関係法規に従って産業廃棄物処理業者に委託し処理してください。
- 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- 安全データシート (SDS) をよく読んで取り扱ってください。

【施工後の安全性について】

- 本製品群は揮発性の化学物質を含んでいますので、塗装直後の引渡しの際は、施主に対して安全性に十分に注意を払うようにご指導ください。
- 不特定多数の方が利用する施設を施工した場合は、ペンキ塗りたてであるなどの立看板等を設置し、化学物質過敏症者ならびにアレルギー体質の方が接することのないようにご配慮願います。
- 安全データシート (SDS) をよく読んで取り扱ってください。

ロックペイント株式会社

- 東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号 ☎(03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
- 大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市淀川区姫島3丁目1番47号 ☎(06)6473-1650 FAX (06)6473-1000
- 札幌営業部 / 〒003-0011 / 札幌市白石区中央一条4丁目3番48号 ☎(011)812-2761 FAX (011)812-9304
- 仙台営業部 / 〒983-0044 / 仙台市宮城野区宮千代2丁目3番11号遠正ビル201号室 ☎(022)349-8677 FAX (022)283-3255
- 西関東営業部 / 〒252-0131 / 神奈川県相模原市緑区西橋本1丁目15番16号 ☎(042)700-3111 FAX (042)700-3112
- 名古屋営業部 / 〒454-0059 / 名古屋市中川区福川町1丁目1番地 ☎(052)351-6500 FAX (052)361-7433
- 岡山営業部 / 〒701-1134 / 岡山市北区三和1000番3号 ☎(086)294-1201 FAX (086)294-6966
- 福岡営業部 / 〒811-0119 / 福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜3丁目2番1号 ☎(092)962-0661 FAX (092)963-1241

URL: <https://www.rockpaint.co.jp>

●本カタログの内容については、予告無しに変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。また記載内容について、法律で認められる範囲を超えての転載・複製を禁止します。

販売店